

第2次観音寺市環境基本計画 (改訂版)

概要版

人と自然が織りなす 彩りと笑顔があふれる
環境のまち かんおんじ



2023年3月
観音寺市

第2次観音寺市環境基本計画（改訂版）について

改訂の背景

市では、2009年に「観音寺市環境基本計画」、2019年に「第2次観音寺市環境基本計画」をそれぞれ策定し、具体的な環境施策に取り組んできました。

その後、環境行政を取り巻く状況は大きく変化し、国内外においてカーボンニュートラル、すなわち脱炭素に向けた取組が加速しています。市でも、2022年3月に2050年までに市域の温室効果ガス（二酸化炭素）排出量を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。この実現に向けて、市民・事業者・行政が一体となって脱炭素に向けた取組を行っていく必要があります。

本計画において、これまで推進してきた環境像や施策、取組を発展的に継承するとともに、脱炭素施策の充実と着実な進行管理を行い、環境を取り巻く情勢の変化を踏まえた環境施策を推進するため、「第2次観音寺市環境基本計画」を改訂します。

改訂のポイント

◆観音寺市において特に解決が望まれる課題への取組

国内外における脱炭素化への急速な流れを受け、脱炭素施策の充実と着実な進行管理を行うとともに、第2次計画策定以降における環境を取り巻く情勢の変化を踏まえた環境施策を推進します。

◆市民・事業者にとってわかりやすい計画づくり

本計画を推進する上での各主体の役割を明確化し、環境への理解を深めることにより、環境の課題に対する意識の共有を図ります。

◆実効性のある進捗管理手法の構築

市民・事業者との連携や計画の評価、取組の継続的な改善が効果的に機能する仕組みを構築します。

目的

環境の保全及び創造に関する目標や施策を総合的かつ計画的に推進する

計画の対象範囲

- 地球環境分野
- 資源循環分野
- 自然環境分野
- 生活環境分野

計画の期間

2023年度～2027年度まで

計画の対象区域

観音寺市全域

目指す環境像

人と自然が織りなす 彩りと笑顔があふれる 環境のまち かんおんじ

計画の位置づけ

- ・環境保全に関する施策を総合的・計画的に推進する最上位計画であり、上位計画の「観音寺市総合振興計画」を環境面で支えます。
- ・脱炭素施策の充実と着実な進行管理を行うため、これまで本計画に包含していた「観音寺市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を独立した計画とします。

施 策 体 系

5つの基本目標に基づく施策と3つの重点戦略により、環境のまちづくりを推進します。

基本目標	基本施策	施 策
基本目標 1 気候変動を緩和し、 適応するまちづくり	1-1 再生可能エネルギーの普及拡大	(1) 太陽光発電の導入促進 (2) エネルギー源の多様化等の促進
	1-2 省エネルギー行動の促進	(1) 低炭素社会づくりに向けた行動促進
	1-3 低炭素なまちづくりの推進	(1) 交通対策による低炭素化 (2) 低炭素建築物の整備促進 (3) コンパクトシティの推進 (4) 吸収源の確保
	1-4 気候変動への適応	(1) 気候変動の影響と適応に関する普及啓発 (2) 気候変動の影響への備え
基本目標 2 資源を大切に 循環型まちづくり	2-1 3Rの推進	(1) 3R 啓発活動の推進 (2) ごみ発生抑制の推進 (3) 資源循環の推進
	2-2 ごみの適正処理の推進	(1) 計画的な収集・運搬計画 (2) 適正な中間処理及び最終処分計画 (3) 不法投棄・野焼き対策の強化 (4) 各主体との協力体制の確立 (5) 災害時における廃棄物処理の対応
	2-3 水循環の保全・創出	(1) 水資源確保対策 (2) 水の循環利用促進 (3) 節水の促進
基本目標 3 豊かな自然と 共生するまちづくり	3-1 生物多様性の保全	(1) 学習・参加の場の提供 (2) 生物の多様性の確保 (3) 外来種対策 (4) 野生生物の保護管理
	3-2 水とみどりの保全・創出・活用	(1) 森林や河川などの自然の保全 (2) 里地・里山・里海の保全 (3) 公園・緑地の整備
基本目標 4 安全・安心で快適に 暮らせるまちづくり	4-1 健康・快適な環境の保全	(1) 大気環境の保全 (2) 水環境の保全 (3) 土壌・地盤環境の保全と化学物質対策の推進 (4) 騒音・振動・悪臭・光害対策の推進
	4-2 美しいまちづくりの推進	(1) 清掃・美化活動の推進 (2) 景観資源の保全
基本目標 5 環境を守り育てる ひとづくり、 地域づくり	5-1 環境を守り育てるひとづくり	(1) 環境学習の推進 (2) 学校における環境教育の推進 (3) 環境情報の発信 (4) 環境活動を率いる人材育成
	5-2 協働の仕組みづくり	(1) 各主体との連携強化 (2) 行政間連携による環境配慮
	5-3 環境ビジネスの促進	(1) 環境経営の促進 (2) 環境ビジネスの創出・育成
重点戦略	重点戦略 1 かんおんじの 水とみどりを まもりそだてる	重点戦略 2 かんおんじの 空をまもり そだてる
	重点戦略 3 かんおんじの 人をまもり そだてる	



再生可能エネルギーの普及拡大

行政が率先して市有施設への太陽光発電の導入を推進するとともに、地域と共生しつつ市内への太陽光発電システムの導入を促進します。

また、太陽光発電以外の再生可能エネルギーの導入可能性について調査・研究を行います。

低炭素なまちづくりの推進

歩行者・自転車や公共交通の利用環境を整備し、温室効果ガスの排出抑制を推進します。

また、ZEH・ZEB²の導入促進やコンパクトシティの推進のほか、森林や藻場など二酸化炭素の吸収源確保に努めます。

省エネルギー行動の促進

クールチョイス等の普及啓発を行い、市民や事業者の脱炭素社会に向けた行動を促進します。

また、市有施設の省エネルギー化やクリーンエネルギー自動車¹の導入などを進めます。

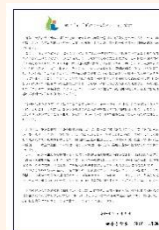
気候変動への適応

自然災害や熱中症等の被害に関する情報提供を行い、市民の意識向上を図ります。

また、豪雨被害等への備えや、暑さ対策としてのクールスポットの整備に取り組みます。

「観音寺市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました！

市では、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを実現するための具体的な方策を推進するためには国や県、市民、事業者との連携強化が必要不可欠であることから、2022年3月1日の令和4年観音寺市議会第2回定例会の施政方針において、市長が「2050年までに市域の温室効果ガス（二酸化炭素）排出量を実質ゼロにすることを目指す」ゼロカーボンシティ宣言を行いました。



*1 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル自動車等、二酸化炭素（CO₂）排出量の少ない車両のこと。
*2 ZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）は住宅、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギービル）はビルにおける1次エネルギー消費量を、省エネ機能の向上や再生可能エネルギーの活用などの創エネにより削減し、年間を通した1次エネルギー消費量を正味でゼロまたは概ねゼロにした住宅・ビルのこと。



3Rの推進

3Rに関する啓発を行い、家庭や事業者から排出されるごみの減量、再使用を促進するとともに、資源のリサイクルを進めます。



適正処理の推進

ごみ集積所の適正な管理、計画的な収集・運搬を行うとともに、不法投棄や野焼きに関する対策を強化します。

また、災害廃棄物処理について、近隣自治体等との協力体制づくりに取り組みます。

水循環の保全・創出

農地や森林の維持保全活動を支援することにより、水資源の確保対策を進めます。

また、雨水利用の促進や、節水意識の啓発を行います。

豊かな自然と共生するまちづくり



生物多様性の保全

自然観察会などの参加型イベントにより、身近な自然にふれあい、理解を深める場や機会を提供します。

また、貴重な動植物の保全と、外来種やイノシシ、シカ、カラスなどによる被害の防止に取り組めます。



水とみどりの保全・創出・活用

森林や河川などの自然環境、農地やため池、漁場、海岸などの里地・里山・里海の保全に取り組めます。

また、グリーンフェスティバルなどの緑化の普及活動や、市民などが行う緑化活動への支援を実施します。



海辺の自然環境を守る活動

市内の名勝・琴弾公園には、2km にわたって砂浜が続く有明浜が含まれています。観音寺市指定天然記念物に指定されている「有明浜の海浜植物群落」は、春から秋にかけ、次々と可憐な花をつけ、訪れる人びとを迎えてくれます。

このような海辺の自然環境を守るために、海浜植物の保全や海岸の清掃など、市民による活動が活発に行われています。市民による市内の豊かな自然環境を守るための活動との連携・協働を今後一層進めていきます。



安全・安心で快適に暮らせるまちづくり



健康・快適な環境の保全

安全・安心で快適な暮らしを実現するために、大気、水質、土壌の状況の監視と汚染の防止に努めます。

また、騒音・振動・悪臭などの公害の未然防止に努めます。

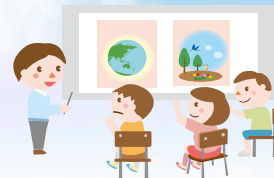


美しいまちづくりの推進

ごみのない美しいまちづくりを推進するために、市民や団体などが実施する清掃・美化活動への支援や啓発を行います。

また、有明浜の海岸風景などをはじめとした豊かな自然景観や、遍路道などの歴史的、文化的景観の保全に取り組めます。





環境を守り育てるひとづくり

市民向けの環境イベント等による環境学習や、学校における環境教育を推進します。

また、市内の環境保全活動を促進するリーダー人材の育成に取り組みます。



協働の仕組みづくり

イベントやアダプト制度などを活用して、環境活動を行う人びとの交流を促進します。

また、地元の農産物・水産物を使った料理の紹介などにより、地産地消を促進します。



環境ビジネスの促進

エコアクション 21^{*3}などの環境経営に関する事業者の認証取得を促進します。

また、地域資源を活かしたグリーンツーリズム^{*4}など、地域の産業振興につながる活動を支援します。

^{*3} 環境省が創設した環境マネジメントシステムで、中小事業者にも取り組みやすいことが特徴である。

^{*4} 農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。

重点戦略

環境像の実現に向け、個々の環境の課題に個別に取り組むだけでなく、関連する分野において総合的に解決を図っていくため、重点戦略を定め、市の環境・経済・社会の向上に一体的に取り組みます。

重点戦略 1

かんおんじの水とみどりをまもりそだてる

内容

瀬戸内海国立公園に指定されている海岸線や伊吹島などの島しょ、豊かな水産資源などの恩恵をもたらす海を形づくる水環境、みどり環境の維持・保全に取り組みます。

1 豊かで美しい海をまもりそだてる

- ・ 海浜環境の保全
- ・ 工場排水、生活排水への対策
- ・ 魚食文化の普及や地産地消の促進

2 親しみあるため池や河川をまもりそだてる

- ・ ため池、河川、親水空間の維持管理
- ・ 多自然川づくり
- ・ 水を大事に使う意識の醸成

3 人と自然とが共生する里地・里山をまもりそだてる

- ・ 生き物の生息環境の保全
- ・ 田園景観の保全
- ・ 雨水の貯留と活用、里地・里山の保全

指標

指標	現状値 (2021 年度)	目標値 (2027 年度)
水質環境基準達成率 (河川 BOD)	100 %	100 %
(海域 COD)	14 %	100 %
汚水処理人口普及率	63.8 %	69.8 %
海岸・河川清掃参加人数	430 人	5,000 人
学校給食における地産地消比率 ※香川県内で生産された農産物・水産物等	59.8 %	60.0 %
水道の 1 人 1 日あたり平均使用量	328 L/人・日	319 L/人・日
森林整備面積 (国有林を含む)	12 ha	70 ha

重点戦略2

かんおんじの空をまもりそだてる

内 容

気候変動対策や大気汚染対策の推進によって、健康的で心地よい暮らしに必要な、良好な大気環境の維持・保全に取り組みます。

1 きれいな空をまもりそだてる

- ・ごみの減量による大気汚染物質の排出抑制
- ・工場、事業場の排出ガス対策
- ・公共交通、自転車利用による自動車排出ガスの抑制

2 身近なエネルギーを上手につかう

- ・住宅や事務所等の省エネルギー化
- ・再生可能エネルギーの導入

3 気候変動に賢く対応する

- ・豪雨災害等の発生防止と備え
- ・熱中症等の暑さ対策
- ・農作物に対する影響への対策

指 標

指標	現状値（2021年度）	目標値（2027年度）
家庭系一般廃棄物の1人1日あたりの排出量（し尿を除く）	635 g/人日	616 g/人日
一般廃棄物の再資源化率	25.9 %	28.0 %
環境基準超過時間（光化学オキシダント） （微小粒子状物質（PM2.5））	503 時間 1 日	改善を図る 改善を図る
悪臭苦情件数	38 件	減少
のりあいバス利用者数	150 人/日	250 人/日
市域のエネルギー消費量 ^{*5} 削減率 ※2013年度比	26.3 % (2018年度)	31.5 %
市域のエネルギー起源CO ₂ 排出量 ^{*6} 削減率 ※2013年度比	35.0 % (2018年度)	43.6 %
太陽光発電システム導入容量（累積）	67,765 kW	149,500 kW
市有施設の太陽光発電システム導入量	144 kW	735 kW
公用車の電気自動車導入台数	0 台	4 台

^{*5} 観音寺市で消費される、電気やガスなどのエネルギー量のこと。

^{*6} 観音寺市で排出される、燃料の燃焼や、供給された電気や熱の使用に伴うCO₂排出量のこと。

重点戦略3

かんおんじの人をまもりそだてる

内 容

環境に配慮した行動を実践する人材の育成とそれらの人びとの連携によって、より良い環境づくり、地域づくりに取り組みます。

1 かんおんじの環境をまもり育てるひとづくり

- ・環境教育や環境体験学習の充実
- ・環境保全活動を促進するリーダー人材の育成
- ・市職員の環境意識の向上

2 かんおんじの環境をまもり育てる仕組みづくり

- ・市内の環境活動の促進
- ・アダプト制度の推進

3 かんおんじの環境をまもり育てる地域づくり

- ・太陽光発電などのエネルギーの地産地消
- ・水産業、農業の振興など、市の環境の基盤となる地域づくり

指 標

指標	現状値（2021年度）	目標値（2027年度）
環境学習参加者数	73 人/年	400 人/年
環境推進員の養成数（累積）	13 人	17 人
エコ・アダプトロード団体数	43 団体	46 団体
香川県認定環境配慮モデル製品数（累積）	1 製品	3 製品
地域移輸出入収支額 ^{*7} ※公表データが更新された場合に採用	-197 億円	改善を図る

^{*7} 地域経済分析で用いられる指標で、域外へ販売している額（輸出額）と域外から購入している金額（輸入額）との差のこと。

家庭や事業所での環境配慮行動

	家庭でできること	事業所でできること
基本目標 1 気候変動を緩和し、 適応するまちづくり	できることから CO₂ 排出削減 に取り組みましょう！ <ul style="list-style-type: none"> 断熱性能が高い ZEH の導入 太陽光発電や蓄電池の設置 電気自動車の購入 公共交通機関の利用 	CO₂ 排出削減に向けた事業活 動に努めましょう！ <ul style="list-style-type: none"> 断熱性能が高い ZEB の導入 太陽光発電や蓄電池の設置 電気自動車の購入 熱機器の電化
基本目標 2 資源を大切にす 循環型まちづくり	食品ロスを減らし、ごみの分 別・減量に努めましょう！ <ul style="list-style-type: none"> 循環型ライフスタイルへの転換 食べ残しや食品の買いすぎ防止 	資源の消費を抑え、ごみは適 正に処分しましょう！ <ul style="list-style-type: none"> プラスチック製品の使用削減 食べ残しゼロ運動への協力
基本目標 3 豊かな自然と 共生するまちづくり	身近な自然にふれあう機会を 増やしましょう！ <ul style="list-style-type: none"> 自然観察会への参加 外来生物の責任ある飼育 	屋上緑化など事業所内の身近 な緑化に努めましょう！ <ul style="list-style-type: none"> 地域の緑化活動への参加・協力 海ごみ清掃活動の実施
基本目標 4 安全・安心で快適に 暮らせるまちづくり	地域の良好で快適な環境づく りに努めましょう！ <ul style="list-style-type: none"> 地域の美化活動への参加 浄化槽の適正な維持管理 適正なごみの排出 	関係法令を遵守し、公害の未 然防止に努めましょう！ <ul style="list-style-type: none"> 騒音・振動などの発生抑制 地域の美化活動への参加・協力
基本目標 5 環境を守り育てる ひとづくり、地域づくり	地域の環境リーダーとして活 躍し、食材などの地産地消を 心がけましょう！ <ul style="list-style-type: none"> 環境イベント・セミナーの参加 環境推進員の登録 	環境に配慮した経営に取り組 み、地域を牽引する新たなビ ジネスにも挑戦しましょう！ <ul style="list-style-type: none"> エコアクション 21 の取得 地域資源の活用



観音寺市マスコットキャラクター「銭形くん」

**家庭で！事業所で！
 環境に配慮した行動を実践してみましよう**



発行 観音寺市
 編集 観音寺市市民部生活環境課
 住所 香川県観音寺市南町四丁目 2 番 10 号
 TEL 0875-25-2698 FAX 0875-25-2867

表紙の写真は、延喜式内社高屋神社本宮の鳥居です。
 2018 年には四国八十八景にも選出され、市民や観光客に人気のフォトスポットとして親しまれています。